

第 46 回社会思想史学会研究大会
オンライン開催方法案内（セッション、自由論題報告者向け）

社会思想史学会第 46 回大会の開催方法について（セッション、自由論題報告者向け）

セッションもしくは自由論題の報告者は、下記の要領に従って報告をおこなってください。（学会事務局のメールアドレスはこちら→ shst-office@shst.jp）

10月30日（土）

10:00-12:00	セッション A 社会思想におけるリプロダクション：社会と再生産する身体	セッション B 書評会：上田悠久『（助言者）ホップズの政治学』	
12:30-14:30	セッション C 18・9 世紀ドイツの社会経済思想	セッション D 戦後思想再考——《始まりを問い質す》その 1	
14:50-17:30	シンポジウム		
17:45-18:30	総会		

10月31日（日）

10:00-12:00	セッション E アリストテレスを受容する：18 世紀啓蒙の一契機			
12:30-14:30	セッション F ルソー論の現在—『ルソー論集—ルソーを知る、ルソーから知る』を読む	セッション G アメリカ批判理論の挑戦——新自由主義と権威主義の批判	セッション H 福祉国家の思想史：橋本努『自由原理——来るべき福祉国家の理念』を読む	
15:00-17:00	セッション I マルクス主義とレイシズム	セッション J 井上弘貴『アメリカ保守主義の思想史』（青土社 2020 年）を読む	セッション K 自然と霊性——エルンスト・ブロックの思弁哲学	セッション L 政治とおろかさについて—— Nobutaka Otobe, Stupidity in Politics (Routledge, 2020) を読む
17:30-19:00	自由論題報告者を囲む懇親会（仮題）			

【セッション報告者の皆様へ】

①アクセス方法（Zoom等Web会議システムのURLなど）・質疑応答の方法・セッション世話人の氏名とメールアドレスなど、会員が参加するために必要な情報を記載した用紙を、事務局までメール添付で送ってください。共通パスワードをかけたうえで、事務局がホームページにアップします。

開催日時・アクセス方法等の提出期限：10月23日（土）

ホームページ掲載期間：10月24日（日）～31日（日 ※学会終了時）

※開催方式の設定および運営は、各セッションの責任でおこなってください。会員からの問い合わせに対応できるように、ホームページに掲載する用紙のなかに、セッション世話人の氏名とメールアドレスを明記するようにしてください。

②セッション終了後、セッション世話人はセッション報告結果（報告および質疑応答の内容のあらまし）を文書にまとめ、事務局にメール添付で送ってください。

セッション報告結果の提出期限：11月14日（日）

※セッション報告結果は、期日までにかならずお送りください（報告結果の提出をもって、学会報告成立と認定されます）。報告結果はホームページ上に掲載されます（例年どおり）。

【自由論題報告】

①各報告者は、報告原稿（読み上げ原稿形式）を、事務局までメール添付で送ってください。事務局が、質問の宛先を記載し、共通パスワードをかけたうえで、ホームページにアップします（質問の宛先を記載する必要があるため、報告原稿は原則としてワード（word）ファイルで作成・提出してください）。報告原稿の分量は、A4（40字×40行）で6枚以上、とします（上限は特に定めません）。

報告原稿の提出期限：10月23日（土）

ホームページ掲載期間：10月24日（日）～31日（日）

②10月31日（日）までに会員から寄せられた質問・コメントについては、すみやかに司会者がまとめて報告者に送付します。報告者は、期日までにリプライを司会者に送付してください（司会者のメールアドレスは別途お知らせします）。

リプライの送付期限：11月7日（日）

第46回社会思想史学会研究大会
オンライン開催方法案内（セッション、自由論題報告者向け）

③報告者は、報告および質疑応答の概要をまとめた文書を作成し（A4一枚程度）、司会者までメール添付で送ってください。

報告および質疑応答の概要の送付期限：11月14日（日）

④報告および質疑応答の概要は、司会者によるチェックのうえ（修正が必要と認められる場合には、報告者に送り返しますので、修正のうえ再提出してください）、ホームページ上に掲載されます（これをもって、学会報告成立と認められます）。

◇「自由論題報告者を囲む懇親会」について

今年度の新企画「自由論題報告者を囲む懇親会」は、自由論題報告者の皆様に、自己紹介とご自分の報告の概要をお一人につき5分程度でアピールして頂くオンライン（リアルタイム）の催しです。自由論題報告者に限らず、広く学会員の皆様に参加して頂き、主としてzoomのチャット機能で、自由論題報告者と交流して頂くことを考えております。大会担当幹事が主催し、盛り上げ役を務めます。

「報告原稿を読んだ。面白かったので、報告者に一声かけたい」「原稿を読んでいないけれど耳学問したい」、その他諸々、学会員の皆様に気軽にご参加いただき、楽しく和やかな交流会としたいと考えています。あくまでも懇親会ですので、自由論題報告者の参加・不参加は自由です。詳細は追ってお知らせします。